

2011年4月の東北地方の天候

【4月の特徴】

- 東北北部の多雨・寡照、東北南部の少雨
- 上旬前半と中旬終わりの低温

(1) 2011年4月の概況

月の前半は高気圧におおわれて晴れの日が多かった。月の後半は上空に寒気を伴った低気圧や気圧の谷の影響で、東北北部では曇りや雨の日が多くなったが、東北南部では天気は数日の周期で変わった。東北北部は低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかったため、降水量が多く日照時間がかなり少なかった。一方、東北南部は高気圧の影響を受けやすかったため、降水量が少なかった。上旬前半と中旬終わりは強い寒気が南下し低温となった。また、月の後半は低気圧の影響で各地で大雨となった日があった。

月平均気温は東北北部で平年並、東北南部で低い。月降水量は東北北部で多く、東北南部で少ない。月間日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、高気圧におおわれて晴れの日が多かった。2日に寒冷前線が東北地方を通過した後、一時冬型の気圧配置となり東北日本海側では曇りや雪となった。8日から9日にかけては寒冷前線が東北地方を通過し、青森県や秋田県で大雨となったところがあった。気温は、期間の前半は寒気の影響で平年を下回り、期間の後半は暖気の影響で平年を上回るなど変動が大きかった。

平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側で平年並。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。

中旬：この期間、高気圧におおわれて晴れの日が多かった。16日に寒冷前線が東北地方を通過し、青森県や秋田県で大雨となったところがあった。19日から20日にかけては低気圧が関東の南岸と日本海からそれぞれ三陸沖に進んだ影響で雨や雪となり、東北太平洋側を中心に大雨となったところがあった。気温は、期間のはじめと終わりは寒気の影響で平年を下回り、期間の中頃は暖気の影響で平年を上回るなど変動が大きかった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で低い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。

下旬：この期間、上空に寒気を伴った低気圧や気圧の谷の影響で、東北北部では曇りや雨の日が多くなったが、東北南部では天気は数日の周期で変わった。23日から24日にかけては低気圧が朝鮮半島付近から日本海を北上した影響で各地で大雨となった。27日から28日にかけては低気圧が朝鮮半島付近から日本海を北上した影響で東北日本海側を中心に大雨となったところがあった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。

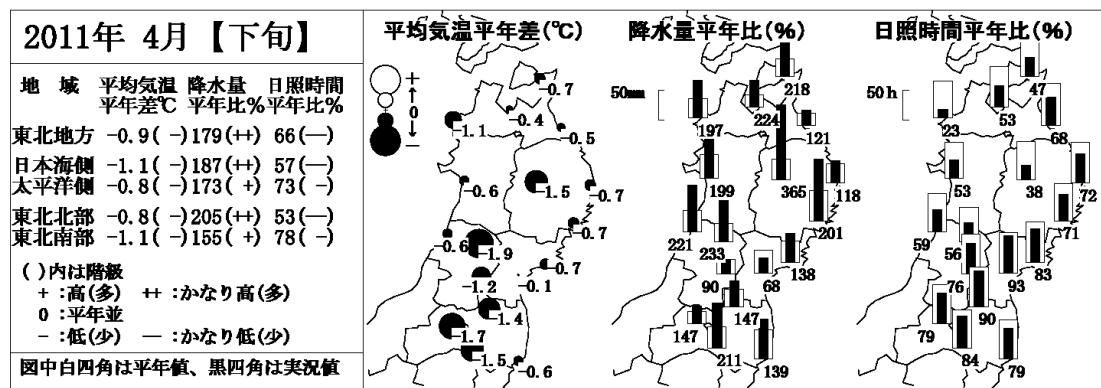
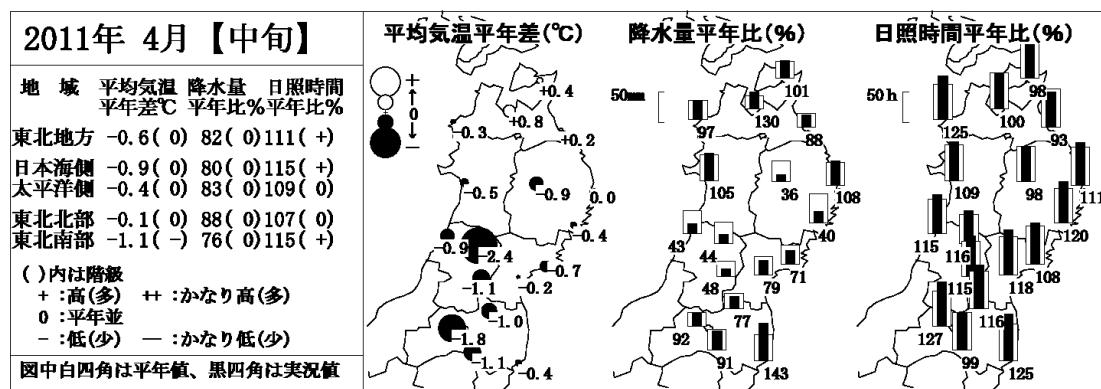
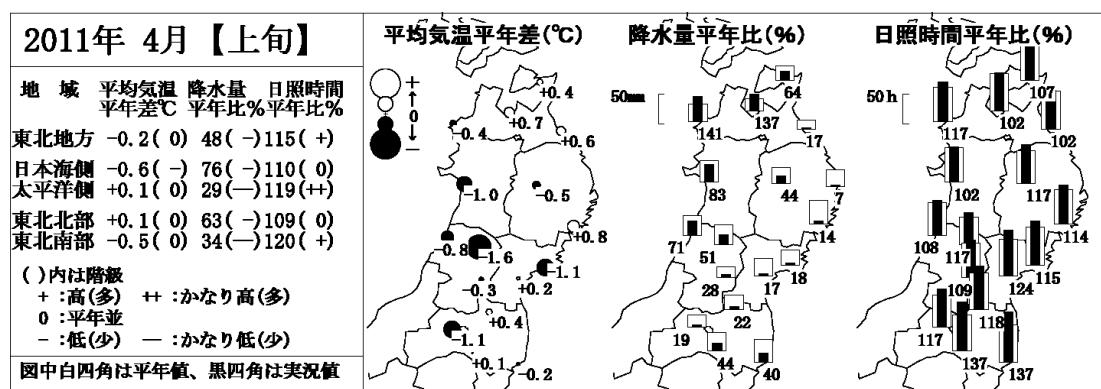
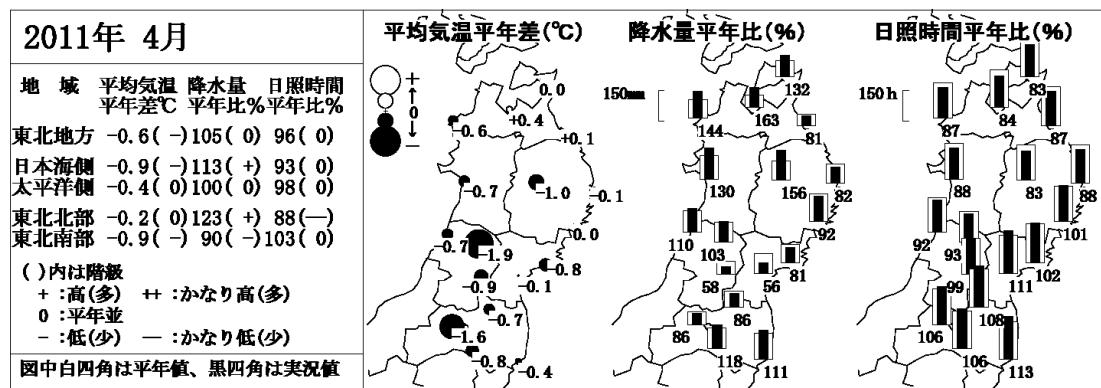
(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。

細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2011年4月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2011年4月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)	階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)	階級	最深積雪(平年値)		階級
	(°C)	(°C)					(mm)	(%)				(cm)	(cm)	
青 森	8.3	(+0.4)	○	99.0 (163)	+*	17	157.1 (84)	-*	4	(9)	○	3	(16)	○
深 浦	7.7	(-0.6)	-	134.5 (144)	+	13	152.2) (87)	-	-	(3)	-	-	(2)	-
む つ	7.2	(0.0)	○	107.0 (132)	+	17	160.6 (83)	-*	3	(7)	○	2	(6)	○
八 戸	8.4	(+0.1)	○	48.0 (81)	○	13	169.8 (87)	-	-	(6)	-	-	(2)	-
秋 田	8.5	(-0.7)	-	152.5 (130)	+	13	153.3 (88)	-	-	(2)	○	0	(1)	○
盛 岡	7.4	(-1.0)	-	146.5 (156)	+	14	144.6) (83)	-*	-	(6)	-*	-	(3)	-*
大 船 渡	9.0	(0.0)	○	126.5) (92)	○	9)	177.5) (101)	○	-	(1)	○	-	(1)	○
宮 古	8.6	(-0.1)	○	79.0) (82)	○	10)	169.1) (88)	-	×	(5)	-	×	(3)	
仙 台	10.0	(-0.1)	○	55.0 (56)	-	8	212.1 (111)	+	-	(1)	○	-	(1)	○
石 卷	8.4	(-0.8)	-	74.5) (81)	-	8)	196.2) (102)	○	1	(1)	+	1	(1)	+
山 形	8.9	(-0.9)	-	39.5 (58)	-	7	178.2 (99)	○	-	(3)	-	-	(2)	-
新 庄	6.2	(-1.9)	-*	101.5 (103)	○	15	140.1 (93)	○	2	(20)	-	84	(29)	+
酒 田	9.1	(-0.7)	-	116.5 (110)	○	13	159.9 (92)	-	-	(1)	○	-	(0)	
福 島	10.6	(-0.7)	-	68.0 (86)	○	6	203.1 (108)	+	-	(3)	○	-	(2)	○
若 松	8.3	(-1.6)	-	54.5 (86)	○	8	187.1 (106)	+	-	(6)	-	-	(3)	-
白 河	9.0	(-0.8)	-	119.0 (118)	○	8	196.0) (106)	+	-	(3)	-	-	(2)	○
小 名 浜	10.7	(-0.4)	○	143.0 (111)	○	8	210.5 (113)	+	()	-	()	-	()	

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

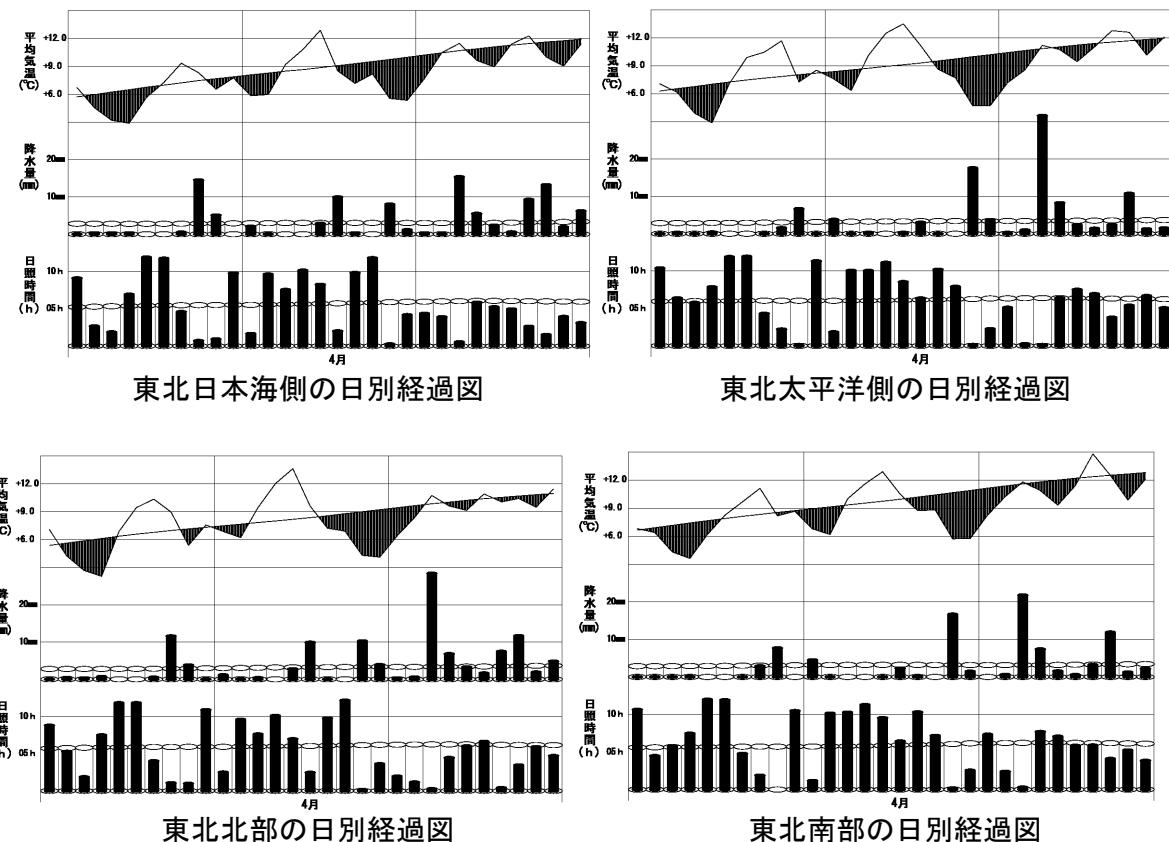
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に)や]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2011年4月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2011年4月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新
3位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新
3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新
3位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新
3位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新
3位以内はなし

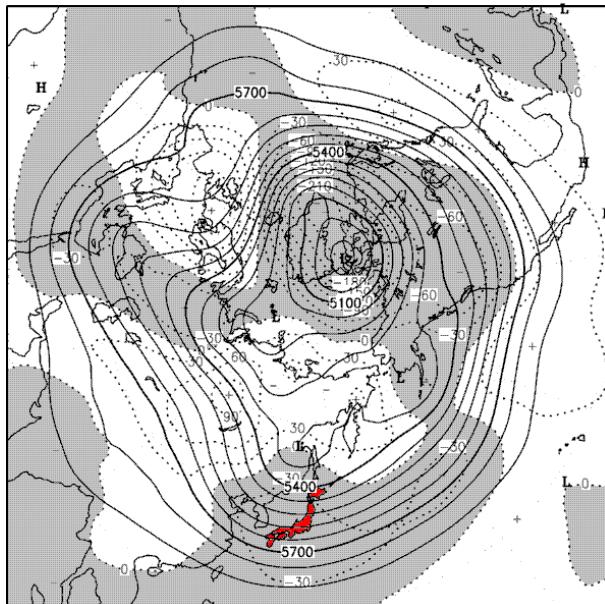
月間日照時間少ない方からの順位更新
3位以内はなし

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新
3位以内はなし

月最深積雪大きい方からの順位更新
3位以内はなし

(7) 2011年4月の循環場の特徴

500hPa 高度では、北半球の中緯度帯は偏西風の蛇行が明瞭で、バイカル湖付近は気圧の尾根で正偏差、日本付近は気圧の谷で日本の東海上にかけて負偏差となった。このため、日本付近は北からの寒気の影響を受けやすく、東北地方では上旬前半と中旬終わりに低温となった。また、日本付近には南からの暖かく湿った気流が入りにくく、月の前半は低気圧や前線の影響が弱かったため、東北南部では降水量が少なかった。



2011年4月の平均500hPa高度

実線は等高度線：60m毎、点線は偏差：30m毎
陰影部は負偏差（寒気に対応）

(8) 東北地方の桜の開花状況 2011年

（最早・最晩の統計期間：1953年～2010年：平年値は1971年～2000年）

観測地点	開花日					満開日				
	今年 (2011)	平年値	昨年 (2010)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2011)	平年値	昨年 (2010)	最早/起年	最晩/起年
青森	4.25	4.26	4.28	4.14/2002	5.11/1984	4.28	5.01	5.02	4.16/2002	5.18/1984
秋田	4.23	4.19	4.24	4.07/2002	4.30/1984	4.27	4.24	4.28	4.12/2002	5.08/1965
盛岡	4.20	4.23	4.25	4.11/2002	5.06/1984	4.29	4.27	5.02	4.16/2002	5.09/1984
山形	4.18	4.17	4.19	4.03/2002	4.29/1984	4.25	4.21	4.25	4.06/2002	5.04/1984
仙台	4.12	4.12	4.13	3.29/2002	4.28/1984	4.15	4.18	4.21	4.03/2002	5.03/1984
福島	4.12	4.11	4.09	3.29/2002	4.25/1984	4.15	4.15	4.13	4.02/2002	4.28/1984

開花：標本木に5～6輪の花が咲いた日

満開：標本木が、咲き揃ったときの約80%以上が咲いた状態となった日

平年値の更新について

- 1981～2010年の観測値による新しい平年値を作成しました。
- 新平年値は、平成23年5月18日から使用します。
- 新平年値では現平年値と比べ、気温は全国的に高くなっています。冬の降雪量は日本海側の多くの地点で減少しています。

詳しくは平成23年3月30日気象庁報道発表資料をご覧願います。

月ごと、季節ごとに発表している東北地方の天候では、6月1日発表のものから新平年値を使用します。